

平成 30 年 3 月 22 日

垂水市長 尾脇 雅弥 殿

垂水市総合開発審議会  
会長 大石 充

第 5 次垂水市総合計画前期基本計画（素案）について（答申）

平成 30 年 2 月 16 日付け垂企第 5630 号で諮問のありました第 5 次垂水市総合計画前期基本計画（素案）について、慎重に審議した結果、その内容は概ね適切なものと思われま

す。  
なお、審議の過程において、別紙のとおり意見がありましたので、その趣旨を出来る限り反映させるようお願いいたします。

(別紙)

## 第5次垂水市総合計画前期基本計画（素案）に対する意見

1. 前期基本計画を進めていくうえで、次の点に留意されたい。
  - (1) 前期基本計画に定めた成果指標の進捗度合いを、しっかりと検証し、その結果を、市民に分かりやすいように周知していくこと。
  - (2) 人口減少・少子高齢化が進んでいく中では、市民と協働したまちづくりが大切であるので、市民が積極的に行政運営に参加できるような工夫に努めていくこと。
  - (3) 重点プロジェクトにおいては、従来の縦割り行政では課題解決が困難となっているので、政策間の連携を強化して事業推進していくこと。